

松が丘園 通信 4年8月号

令和4年8月1日発行・vol.50
社会福祉法人相模原市社会福祉事業団

- ◆この通信は、障害者支援センター松が丘園で行う事業の情報をお伝えしています。
- ◆事業団ホームページには、この通信の他、各事業の詳細を掲載していますので、こちらも合わせてご覧ください。
www.sagamihara-shafuku.or.jp/matsugaokaen/mtgk-news.html

福祉研修センター

<お知らせ>

令和4年度相模原市強度行動障害支援者養成研修を11月21日(月)、22日(火)の2日間、障害者支援センター松が丘園研修室にて、集合研修で開催いたします。受付開始は9月1日から、申込書は福祉研修センターHPよりダウンロードしていただけます。

また、8月中に開催予定の研修については、当初対面開催のご案内をしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大状況を受け、一部をオンライン開催へと変更させていただきます。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程、どうぞよろしくお願いいたします。

<研修報告>

6月21日(火)に『医療観察法について学ぶ』研修を開催いたしました。

横浜保護観察所の社会復帰調整官、新樂勇太郎氏・小貫貢氏、相模原市精神保健福祉センター医師、新井紘太郎氏をお迎えし、『心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察に関する法律(医療観察法)』について、制定の経緯、制度概要および法の目的等、ご講義いただきました。参加者の皆さんからは「医療観察法の基本的な仕組みについて理解が深まった」「実際の支援現場で活用したい」という声が寄せられており、とても充実した研修になりました。今後も支援者の皆様にとって有意義な研修を企画してまいりますので、是非、ご参加ください。



【『医療観察法について学ぶ』オンライン配信の様子】

地域障害者施設支援事業

相模原市障害者地域作業所等連絡協議会では、7月15日(金)に市役所ロビーにてハンドメイド雑貨やお菓子など「バオバブ」で販売している商品の販売会を行いました。

外はあいにくの大雨でしたが、たくさんの方にご来場いただきました。販売に参加された利用者の方は「私が作ったんです!」「雨で心配だったけどきてくれてうれしいです!」と、とても楽しそうにお客様と話されていました。



【市役所ロビーでの販売会には多くの方が来られました】

相模原就業・生活支援センター／ 就労援助センター

在職中の登録者を対象に、勉強会や余暇活動を通して情報交換や悩みを話す場となるよう行なっているフォローアッププログラムですが、6月18日(土)に「ハーバリウムを作ろう」、7月24日(日)には「おでかけしよう」を実施しました。

「ハーバリウムを作ろう」では、けやき体育館を会場に、ハーバリウムづくりを行ないました。プログラム内では色が持つイメージをお伝えし、準備した様々な色の花材から、使用したい材料を選んで作成していました。

「おでかけしよう」ではJAXA相模原キャンパスを見学しました。皆さん笑顔で参加され「実物のロケットやリュウグウを見ることができて良かった」といった感想が聞かれました。

コロナ禍で登録者が集まるイベントがなかったこともあり、久しぶりに行われた集合プログラムに、皆さん笑顔で参加されていました。



【ハーバリウムを作ろう】



【おでかけしよう】

障害者支援センター多機能型事業所

<生活介護事業>

季節を感じる活動として、6月に「あじさい祭り」を開催しました。

あじさいの花を淵野辺公園へ見に行ったり、ベット上やバギーからでも楽しめるよう、ビニール傘の中にカラーボールや色紙を入れて逆さに吊るし、カラフルなあじさいやお花に見える作品を楽しみました。夢中になって見たり、笑顔を見せてくれる方もいて華やかな活動になりました。



【 カラフルなあじさいを目に、笑顔があふれます 】

<就労移行支援事業>

就職に向けて『就活講座』を開催しました。この講座の目的は、就職活動の流れを学び、自分自身の自己紹介書を作ることで、自分自身を深く理解することです。自分の苦手なことを考えるのは、大変な部分もありますが、就職に必要な取り組みについて、気づくヒントになります。また、それ以上に自分の良いところや得意なことを理解することは、今までより自らを肯定的に捉えられるようになり、自信が持てるようになります。実際に受講した利用者からは「就職活動の手順が多くて驚いた」「自分の自己紹介書を初めて作ったが、自分のことを知ることができて面白かった」「自分のことを知ることが難しい」といった感想が聞かれました。このような講座を通じて利用者の皆さんが、自分の良いところにたくさん気づき、自分らしい職業選択ができるよう、応援しています。



【 私の得意なことって何だろう？ 】

<自立訓練事業>

7月16日(土)に津久井養護学校主催『つなぐれ・つながりフェスティバル』にオンラインで参加し、よさこい・ソーラン節を発表しました。利用者の皆さんは、この日のために週に2~3日練習してきました。その努力のおかげで当日は元気よく踊ることができ、とてもカッコ良かったです。津久井養護学校の生徒の皆さんも、曲が流れると画面越しに楽しそうに踊ってくれました。また、他の参加団体による人形劇やマジックでは、驚きと感動があり、楽しく鑑賞することができました。他にも、相模湖音頭を生徒の皆さんや地元の方と一緒に踊り、オンラインでも十分に楽しめた、一体感あるお祭りでした。参加した利用者の方からは「楽しいです!」「相模湖音頭を踊るのを楽しみにしてました!」「よさこいががんばりました」などの感想が聞かれました。よさこい・ソーラン節をがんばって踊り、津久井養護学校の生徒の皆さんやフェスティバルの参加者と楽しい時間を過ごしたことで、自信を持つことができたり、温かい気持ちになったりと多くの事を体験できた1日となりました。



【 カメラの向こうの皆さん!こんにちは! 】



【 オンラインで届くよう、一生懸命踊りました 】

今年度の松が丘園祭について

今年度の松が丘園祭~銀河の森フェスタ~は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの開催が難しい状況が続いており、今年も変則的な開催となります。

楽しみにされている利用者の皆さんには別の形で楽しめるものを、ご協力いただいている地域や関係団体の皆さまには、当事業団の日頃の取組みを発信し、それぞれ昨年以上のものとなるよう、検討しております。

来年こそは皆様と松が丘園でお会いできることを願っております。